

新中央図書館の設置

1. 施設概要

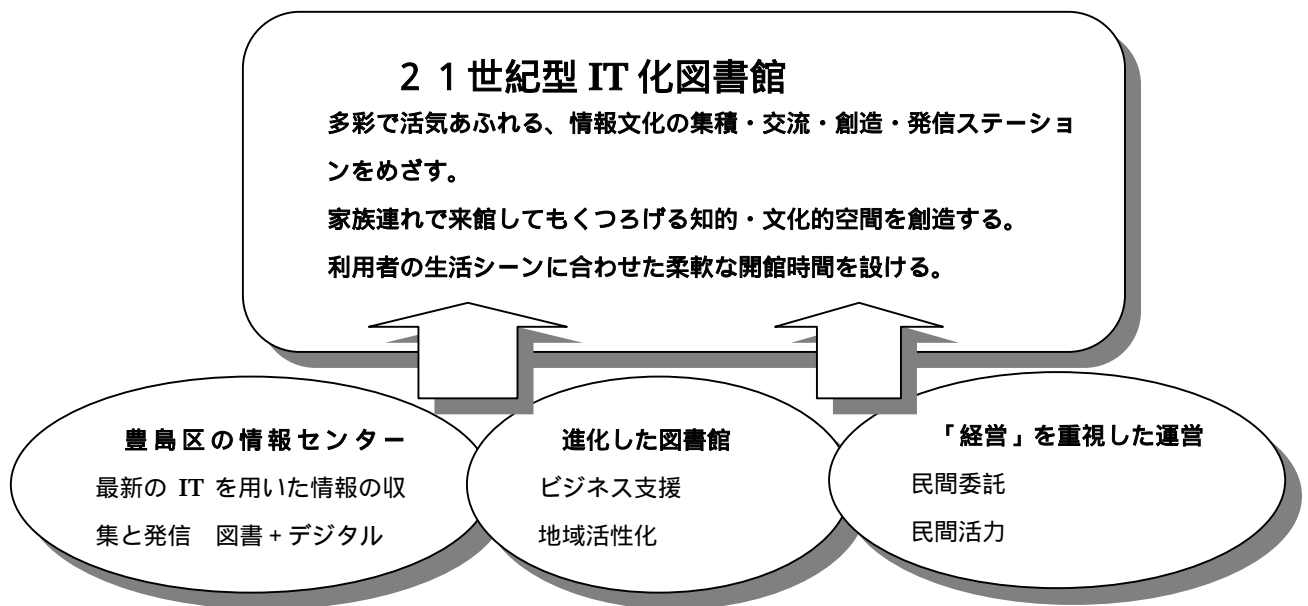
東池袋四丁目地区再開発ビルに開設予定の新中央図書館は、「21世紀型IT図書館」として情報基盤を整備し、インターネット利用可能なコンピュータ端末を設置するなど、多彩で活気あふれる知的、文化的空間を実現するとともに、再開発ビルの2、3階に設置する交流施設と連携した演劇等の情報発信機能の充実を図るものとする。

(新中央図書館の概要)

設置場所	東京都豊島区東池袋4丁目4番他 東池袋四丁目地区市街地再開発ビル、業務棟4～5階
専有面積等	4階専有面積 約 1,700㎡ (その他共用面積 約510㎡) 5階専有面積 約 1,300㎡ (その他共用面積 約540㎡)

2. 基本コンセプト

多彩で活気あふれる情報ステーションを目指し、家族連れでもくつろげる知的文化的空間とし、ビジネスユースにも対応した特色ある21世紀型IT化図書館とするため、「豊島区の情報センターを目指す」、「進化した図書館を目指す」、「経営を重視した図書館を目指す」を、新中央図書館の基本コンセプトとする。



IT技術の発達に代表される高度情報化社会の到来により、図書館を取り巻く環境は急激に変化している。新中央図書館は、今後の社会のIT化や将来の電子図書館実現に向けた情報サービスの基盤を整備するとともに、再開発ビル内の公共施設のにぎわいの創出や、交通の利便性にすぐれた立地条件を生かした最新の設備をもった21世紀型の図書館を目指す。

3. フロア - 構成

新中央図書館には、一般図書の開架・閲覧コーナー、総合カウンター、ビジネス・ITコーナー、児童コーナー、点字図書館等を配置する。

(フロア - 構成及び専有床面積案)

5階	ビジネス・IT・AVコーナー	580 m ²
	点字図書館	135 m ²
	事務室、電算室、会議室、その他	615 m ²
4階	総合カウンター、ブラウジングコーナー	270 m ²
	一般図書の開架、レファレンス、閲覧コーナー	930 m ²
	児童コーナー	350 m ²
	閉架書庫	120 m ²
合計専有面積		3,000 m ²

4. 情報化機器の導入

利用者が、時間やコストを節約して容易に情報源にアクセスできる情報機器環境を整備するため、以下のような情報技術について、新中央図書館への導入検討を行う。

館内を「無線系 LAN(構内情報通信網)」で高速インターネット接続環境とする
 インターネット利用可能なパソコンの設置
 商用新聞、雑誌データベースなど外部情報の活用
 電子メールを用いたレファレンスサービスの提供
 電子メールを用いた質問、回答集のデータベース化とインターネット公開
 CD、DVD等を一元管理するオートチェンジャー導入
 図書紛失防止装置(ブックディテクション)による資料管理
 図書自動貸出機による利用者のセルフサービス貸出
 新着図書情報等をメール機能で自動的に発信する選択的情報システムの導入
 コンピュータ電話統合サーバー(CTI)による情報サービスの拡大
 IC(集積回路)カードやICタグによる蔵書管理、自動貸出、自動返却
 大型映像を備えたエントランスや大画面プラズマ採用の電子看板システムによる情報発信
 デジタル絵本、ICカードを使った学習サポートシステム

5. 建設スケジュール

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
再開発ビル	再開発ビル建築工事				新中央
新中央図書館			内部工事等	開設準備	図書館 開設

6. 事業費(概算) 34億6000万円